

◆いわき地区・国語部会の実践 (平成11年11月 内郷高等学校で実施)

いわき地区においては、小学校・中学校・高校で学習する韻文教材をもとに研究授業を実施しました。特に、「サクシード」で取り上げた韻文教材の読解方法をもとに、次の2つの班で研究授業を実施しました。

A班：高校教員どうしによる授業

B班：中・高教員によるチーム・ティーチング

なお、B班で実施した授業は、表現力の育成に関連づけながら、鑑賞文を作成することにより生徒の韻文（短歌）の理解を深める実践です。以下は、主にB班で実施したチーム・ティーチングについての研究協議の内容です。

◆学習指導案

「現代文」	学習指導案	指導者	T 1 高校教諭 T 2 中学校教諭
日 時	平成11年11月19日（金）第1校時 1年1組教室		
単 元 名	短歌・俳句 「死にたまふ母」 斎藤茂吉		
単元設定の理由	<p>日本独自の短詩型文学の伝統をくむ短歌・俳句は現代の高校生にとって身近な存在とは言い難い。しかし、そのような中で、簡潔で凝縮された短歌・俳句と出会い、言語感覚を磨くことによって、自分自身の内奥を深く見つめることができる。</p> <p>生徒の感性を磨き、作品に込められた作者の心情を読みとり、それを表現する力を育むために本単元を設定した。</p>		
指導目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 近代の優れた短歌・俳句をより深く味わわせる。 2 短歌・俳句のリズムを味わわせ、短詩型文学の表現技法について理解させる。 3 作者の人生と文学に対して興味・関心を喚起するとともに、作者の生きた時代や社会についての認識を深めさせる。 4 作品の鑑賞文を書かせ、発表するとともに、生徒どうしに相互の鑑賞文の良さを確認させる。 		
指導計画	<p>折々の歌 (2時間)</p> <p>短 歌 (3時間) 本時2時間目</p> <p>俳 句 (3時間)</p>		
生徒の実態	<p>女子40名のクラス編成である。比較のおとなしいクラスであるが、様々な課題に対して真剣に取り組む姿勢を持っている。</p> <p>理解力はあるが、表現する力にやや欠ける生徒が多い。発言を求めると積極的に自分の考えを発言する。</p>		
資 料	<p>教科書、学習プリント（別紙）</p> <p>予習プリント、掲示プリント「赤光」、学習プリント「鑑賞文を作ろう」</p>		